万葉集の次の歌が頭に浮ん物皆は新正月になると毎年のように一できます。

物皆は新らしきよし

また前方の顔は「お前は今

く私に問ひかけています。

多難に終始した昭和二十九

あります。

長

助を得て着々と仕事が進め村民各位の協力と国県の援 害は短時間の復旧が困難でられていますがかゝる大災 の問題つざいて起る経済の深刻なものがあり特に食糧 なつたのであります今後と ものがあります。 災害の及ぼす影響は実に の対策については と慄然たる

年

頭

所

東郷村教育委員会委員長

後方の面が「お前はどこに

歩いた道をはつきりさせる

にただ一木青みて見ゆる梅のはなさびしくもあるか梅の林

しらじらと枝に咲きみち梅のはなかがよふもとに立てば

かえる次第 完壁を希望

功を為すに

階のをぐらき籔の奥深みほのかなるかも白梅の花

かな年でとに覚え來なれしさびしさの梅咲く頃となりにける

あかな<br />
梅のはな枝にしらじら見えそむるつめたき春となりにけ

と共に今年歩こうとする道

森

文

夫

日生活して来たのか」と強 向つて何を目あてとして毎

をはつきりさせることが大 事なことではありますまい

明るし

害の復旧も容易な術ではな

後始末は残されている不景 に暗い暗示を与へた台風の

きりに災害の復旧に努力と

私は元旦を迎えるたびにこ

つまらぬ人生であるとしみ

れでは全く「酔生夢死」で

の神のことが思い出されてしみ感ぜられてならないの

私に「無言の教え」をして

くれる気がしてならないの

若し私共が価値ある人生を

送ろうとするならば今まで

を加えてき面に相互の生活

の損害で食糧は甘藷の減収 の被災は何と云つても米作 たヒビの未だ癒ない内に年

逞しい精魂を打込で働くこ

他は後方に向つています。 す。一つの顔は前方に向ひ

を顧るときまことに「無為」 静かに過去の私の歩いた道

前向の顔で前方をよく見守

が自立の為めには、何より

とだ働く事は我々に与へら

れた天命であり又努力程尊

り後方の顔で後の方を守つ

た強き何物もないのですこ

です。今年はと思うときま

梅

0

收

水

年の瀬を迎

の痛手甚し。

の一語につきる感が深いの

てくれるのです。

ない苦しい年だと思われるを守る神で二頭神でありま

ます。この神様は入口や門

ひかけています。

こうとしているのか」と問

「ジャヌス」という神がい

ローマに「ジャニュアリ」一年はどんな方向に歩いて行

気も亦本年は続くだろう災



産額が

を越し迎春となったが台風

円で本 幾千万 は弐億

活に大きなヒビを入れ思も せ等重なる打撃は相互の生 による災害デフレのシワ寄

に道はない大きな工事は国

早く復旧する様に精出す外

や県で復旧される。かつて

る事は協力し合つて一日も

こで出来る丈け自力で出来 て何時迄も片付かない。そ

よらぬ痛手を受けたこうし



の四回に渉る未曽有の台風 とする年だと私は想ふ昨年

悪の年

努力こそ自立

0

東郷村議会議長

たので となっ れた最 突落さ ん底に

ありま

い今年こそ努力を最も必要 | に頼つていては仕事は後れ新しい年を迎へ喜に堪えな | い。と云つて国や県の援助

兀

且

に

東鄉村教育長

月

市



つたにからわらず不幸にも

年を送り此処に希望と喜び 年の不況と災害に喘いだ過 に満ちた昭和三十年の新春 顧りみますと二十九年は連 えられると期待した年であ 去の生活に希望と光りを与 境のど て参りましたが台風後に於 ばならぬと存じます。昨年 位と懇談し実状に適合した 実行方法については更に各 をうけてれが実行を慫慂し ません。具体的な計劃或は 図つて成果を挙げねばなり 細に検討して強力な実行を 本年に於ては更に計劃を仔 つたのであります。 任せざるを得ない実状とな ては緊急事を除き不止得放 本村は県より村起しの指定 為各種産業の振興を図らね ると共に本村の実状からし 本年に於てはこれ等災害復 て村民の経済力を涵養する 旧対策に万全の措置を講ず

将来については「必ず幸せ 一日も早く明るい村豊かな たいものだと存じます。 そお互は励まし助けあつて な年だ」と云う信念で過し 思います。 ます。かゝる異状の場合と とは厳に戒しむべきであり にみにくい争いを生じるこ 延したり平和であるべき処 生活を打ちたてるべきだと ればならぬ事業が時日を遷

沈滞せしめ積極果敢でなけ この機会に一言したいと考 大きさに恐れて精神を萎微 えますことは徒らに災害 施策を講じたいと存じます に対しては云ふまでもないて苦楽を共にしている人達 に限らず。お互ひに一つのとの親愛感は家族の者だけ 鮮にすがくしく感じられ 人だとか、職場を同じぐし 々に拡大されてゆく感情で 何かにつけて直接間接のつ 湧いてくるのを覚えます。 と同時に新らしい親愛感が つづゝ齢を重ねた事の喜び 合せて一向に珍らしくもな 囲を見渡して見ると、山も あります。気心の合つた友 ながりを持つたすべての人 村という枢内に生活して、 ると、免にかく一同無事に 川も畑も野菜も、物皆が新 自分の心を新らしくして周 つて元日のお膳に向つてい い親兄弟女房子供と家内揃 年を送つて、お互ひに一 一方又、朝晩顔を突

なるものは無いにも拘らず よろしかるべ

第 36 号 昭和30年1月15日 行 所 古りぬるのみぞ たゞ人は 宮崎県東臼杵郡 株式安藤印刷所 電話 64 番 事として、顔だけは何かの

持で仕事に当ると同時にす を脱して新鮮発刺とした気 をこそ、新らしい一年の であります。このすべてのが湧いてくるのを覚えるの 或る正月に誰か一人の人に ゆきたいものと念じていま と。常に沈滯を破り、旧套 繰返しくし口づさまれる 克を極めて顕著な特徴とし 持続したいと念願している 事の最も大切な基調として しかるべし」といふ親愛感 がりを一層深くし強くして べての人達との親密なつな るのみぞよろしかるべし」 しきよし、たゞ人は古りぬ のであります。「物皆は新ら 自覚し決意すればするほど た、嶮はしい現代世相のな 次第です。分裂と対立と相 人々に対する新年の親愛感 害の衝突とかの為に相反目 うちに親しみは増してゆく よつて歌はれたこの古歌が かに生きねばならぬことを ぱり「古りぬるのみぞよろ してすら正月になるとや し相争つたやうな人々に対 ばかりか意見の相違とか利 ものだと思はれます。それ いやうな人達に対しても年 名前も知らず話した事もな 折にちよい

く

見掛けても 千年以上も昔の或る年の せん。 れんことを期待して已みま 民一同、強固なる意志と緻 ます。こゝに強力な政治力 思います。昨年四度の台風 皆さん明けましてお目でと一ろう。今年からは新しい気 して旺盛なる生活力を発揮 密なる計画の下に積極的に と思います。そこで私達村 これも亦苦難の道であらう 碍の面を如何に突破して教 ではないかと思います。私 苦しみは想像に余るものが ら八、九月にかけて来るこ のしわよせがこの五六月か う御座います。さて本年は してこの苦難の年を突破さ 育推進の道を押し進めるか 期待されるものは、ないの ありはしないかとも思はれ 東郷村にとりましては、相 ても、斯る環境より来る障 選教育界の面といたしまし<br /> ありますが現状より察して の発揮が必要となるわけで 農家の皆さんの金桟経済の とは事実であります。特に 当に苦しい年ではないかと

新春に想う 東郷中学校長

驚く程縁遠くなつた。どう 昭和の初め頃、あれだけ好 きだつた読書とスポーツが 河野

新春での大いなる収穫であ ない。今迄求め得なかつた う程意識させられて仕方が したものか本年はいやと云 します。

と子供達ののびくした声ひます。 新築校舎の教室から、

ち向いたいと思います

区長

会長

建の為に山

人のしあわせをお祈りいた いたしましよう。<br />
すべての<br />
挙の年正しい明るい選挙を たいと思います。今年は選よう、お互いが努力いたし この幸福がとこしえに続く 寺迫小学校長 山本 先生

真剣に取組んでみたいと思 畑作農業を一歩でも前進さ てとだと思ひます。 はれるか今年は此の機械と 農民が未だ手農業の域を脱 せたいと小型の動力耕転機 し得ないことは大変残念な しました。どんな結果、 「メリーティラー」を導入

生活に間に合わない。自分 柱は太いのがよいし、障子れば小さい障子の棧もある して、どちらもなければ、の機は小さいのがよい。そ 世の中には、大きい柱もあ 蘇一献、今年が貴方にと つていゝ年でありますよう してゆきたいものです。 坪谷小学校長 木政夫 害の重圧が頭をあげる堅褌 得せしめ、平和東郷の建設治は、個を空せず。其所を **ブレの波頭が高くなり、災共に政界の公転が来る。デ** に努め、吾最良の年とした ぬ。巳を空し大同団結、政 一番の叫が私の脳裡を去ら

> 清く正しく進れん事を 各位は益々元気旺盛にして 事多端なる多忙な年で有る

願

る態度は、世の中を破壊す の考えのみを正しいとす たことを感謝いたします。 恙なく元旦を迎えられまし 東郷村婦人会長 三尾女子

原子力の時代に生きる我々 △西林のつらら三たび落つればうめさくとおしえ △児等はみなゐねて静けし妻と二人年 △この春はわが世の春とうぶ声も高らかにあぐる 仲深公民館長 児に幸のあれ かぞえみる し祖父のなつかしきかな 杉田 = ます。悪夢 越の宵を夷

多八穗子 青年副会長 喜び申し上げ

別の力を注ぎ産業開発に重新春に当り抱負の一端を申がぶ今年は災害の復旧に特にの一端を申している。 植林特に望農作物農薬等研林共済各組合の強化計林野 究実施中央地方の選挙等多 点を置林道農道設備農協森 

事業です。皆様の机上に一冊は備えになることした郷土誌で本村にとつては始めての一大文化 旧年末徴收 三一日日 まから 税務課

た小さいといえば小さい、 いうのが、私の新年にかけ といるがよりないと が聞えてくる授業風景を、

年

頭

所

感

東郷村教育会長

※新校舎着工の日はいつい らの希いです。 大きいといえば大きい心か らたまる つと待ち続け来て又年あ 東郷村会議員

きたい。

教育委員

田中利

吉

持で、心も体も伸ばして行

新名岩

雲行水流自然の法則に随て

地球が公転する。何の変哲

お互に、少しでもよい年に

一年は多忙な年の様だ春と もない様に。だが今年と云 今年こそは真摯な生活態度 頌春献寿。馬令一つを加え

に心がけるつもりです。

村会議員 をおす 谷亀太郎 ゝめいたします

申込み 頒ちい 東郷村誌を実費 下さい

たします目一印刷中です至急 (五百圓程度) 7 お

き力を盛り返して東郷村再 平と清き一票の有功をお忘 性的精神をモットウとしてり復旧の年で自我を滅し犠 も私情にとだわらず公事の 省見るに平凡、本年は台風 丸となり総ての行事の成 える事六十度、 して年頭の辞に 努力の年で何事 尾認太郎 特に選挙の公 貧富一体と成 如き困難に立 い一のこ納る金納知しまなりな役税準を分らなしらどこ押金さ● 方れ 二間響年が●申層でとめのはめらてすつ積易線組備者な少いてなうと等がれ糟 はまを十は収施づ年しのすをるで鳴らず、。たつ、迄合預え金しのもいしはの附督納 はまを十は収施づ年上御。事」はとれの育納事でつ持等金るをでも徴のて御強畑促すする。上間でとれの育納事でつ持等金るをでも徴れている。非に定日旧今でで引ま力税しとくにいちゝ組がう滞てど又きさ薬金し税納知処れ数と 持続でら末もるりで。重の頂原ったの、くをくもしくで積せよ少すけなな通が更、糟ししのい二三半日になる場ででな金めの分、料延 納税でおよるりで重の頂の方とではでな金めのが、料で、計算を行ってきまってきまでいらすら知がんらのがう金。なでそば、れでさ財幣が下ですら知がんらのがう金。なでそば、れでさ財幣が下さての日(まのでまたでいらすら知がんらのがう金。なでそば、れでさ財幣が下さての日(まののもるてめ税とず力りく積倒 納税法余ならうな。る差算算いいでま一す一例月

年の挨拶をとりかわし、若 生活は日々に難渋の度を加 れ故にこそ却つて明朗に新 天災に私達の いますが、そ

えることゝ思

平

合理化を計らなければなり

於ても過去を省みて経営の

条件と各自の稼働力を研討

して特産物として販売し村

産費の逓減を計り他の産地

価格の構成をよく知つて生

対策として

1. 単位面積よりの増収

掛がかゝりますからこれの販売にはこんなに多くの諸

済作物の導入に部落の立地

ので植樹に養畜に養蚕に経 経済力の培養に外ならない ません。経営の改善は結局

と思い込んで換金をちゆう

ちよする向もありますから

価格を聯想して価格が安い

態勢を整えることが必要で 外の貨幣を村内に導入する

に木材に薪炭にまとまつた

することになります。現在

にすることが販売を容易に といつでも競争出来るよう

2.市価の向上を計る

の価格の構成は卸売価格が

人を頼りに生計を支えて

りますが災害による

基準になって図のようにな

3. C継続出荷

空の朝陽まぶしも

信

て帰りゆくに晴れとほる

A大量生産

B市場の選択 A品質の向上 ります。現在までは米麦

20%

20%

の中耕

ン畑

が僅か三十分間で終りガソ て居られた。一反歩の中耕 ラーでルーピンの中耕をし

## 今年こそ…… 經濟力の培養に… 努めましよう

価 費格 者

15%

台風銀座と云わ

の改選が行われ国県市町村 なります。私達の私生活に は知事、県議会議員を初め は国を挙げて革新の年に当 を必要としています。本年 を通じ時局に即応した新し の改選が行われ地方に於て 動きでは国会の解散は必至 されていると云わなければ的の困難はむしろ今後に残 烈な台風に見舞われた昭和 に於ても珍しい四回もの い施策が樹立されることに でありますから衆議院議員 つております現在の政界の 済の建直しに思切つた改革 なりません災害の復旧に経 木だ癒えたのではなく経済 た輝かしい昭和三十年を迎 んましたが昨年来の痛手は 十九年を送り希望に満ち 町村長及市町村議会議員 い四回もの強 間を通じ何回も常に収入の うに考えて行かなければな 程の収入があつたと云ふよ 収入を得るような経済作物 出来て来るので短い期間に りますが金額は少くても年 ければ物足りないと云ふよ 伐による枯渇が憂られてい 慮に入れて何日間働いて何 念が忘れられがちであつた の培養を円滑にすることに の導入を計ることが経済力 あることは生活にゆとりが うな考え方が多いようであ るときまとまつた金額でな 物の販売についても生産者 らないと思います。又生産 済を研討するとき時間の観 なります。これまで農業経 の手取価格と卸売価格と消 ようでありますが時間を考

すぐ自分が購入したときの 費者価格の三段階のあるこ とをよく認識していないと 小売利潤 組合手数料 輸 市場手数料 輸 損傷見込 送 + 造 送 費 100% 20~ 15~

60%

名士の御臨席のもとに盛会生甲斐善平先生等斯界の知 結果左の通り入賞作品を決 選歌 選者 定した。 は実に百二首を数え厳選の 裡に終了した。当日出詠数

〇幸くあれと希ひて逝きけ

平尾

○雨もよふ山は静かに夕な へたり 天位 甲斐千代曆先生 矢野 文雄 〇こきざみに身体ゆすりて 〇明日よりは他人手に渡る

工場を晩秋の陽の静かに

通をよくし肥料の分解を促 壌を膨軟にし空気や水の透 五本)に畝の間を耕起し土

「なたね」が急激に成長しを行います。この頃は丁度

耕を行い株ぎわに充分上寄

始め押苔がみられるのでこ

照らせる

吉野 幸夫

育防止に努めませう。二月

の蔓延伸長を助け雑草の発

し養分の保蓄を良くして根

を行いませう。

が盛んになる前に中耕除草 下旬より三月上旬麦の伸長

**を行ふと共に最後の中耕と** 倒伏を防ぐため株間に土寄

す。四月上旬の開花期にも の土寄は特に大切でありま

さらえて畝を整え排水を図 除草を丁寧に行いよく溝を 人位

平尾 百代

て胸病みて居り む父母よ善二十二にし

ツの旺盛な時期(茎数四ー

一月下旬乃至二月上旬分ケ

〇一年の終わり近づきやう 〇二十四時間の勤務を終え 人位 やくに台風のあとの片づ きてゆく 若林博信 麦踏める老婦のせなは夕 陽に赤し

〇養漁池のよどみ蒼める水 や鳴り出でぬ 伝票と現 金と合はざるままに の面にはぜのもみじのう 草野 草野 昭二 昭二

冬から春にかけ 種々あります ての麦の手入は 昔から「稲は地力でとり、

数を増すのに大切な時期で 肥料が最も重要な要素であ ているように麦の増産には 麦は肥料でとる」といはれ 貫位を施し穂の充実を計る 上旬に硫安一貫五百匁~二 穂の発育を盛んにするのに 至二貫位を施しませう。第 ります。一月下旬頃は穂の 必要な時期二月下旬~三月 すから硫安で一貫五百匁乃 ようにしませう。 回目は普通穂肥と云われ 三月上旬頃第二回目を花肥 旬に第一回目の追肥を施し 性のものを薄めて一月中下 ると急激に上昇し四月上旬 寒中極めて少いが三月に入「なたね」の肥料の吸収は うに施すことが大切であり 肥料は開花期に一番効くま 以後次第に減少しますから の開花期に最高となりそれ りませう。 として施すのがよい方法で しては硫安か下肥など速効 ます。この意味から寒肥と 0追 肥

るのではなかろうか。 深い関心と研究の必要があ 上こんな方面にも、もつと であつた。本村の農業経営 リンの消費量は二合たらず

中耕除 おを共に耕土の中の空気や 耕を行つて根の伸長を助けが通り回の中 内中、下旬に第二回目の中 効果の上がるように努め三 の上がるように努め三

あります。 〇中耕と土寄

理をする必要が 間に充分肥培管

療費総額八〇〇万円になる

こうで特に被保険者の各位 と予想しています。

います。本年

度に比し受診率も上昇し医いえましよう昭和二十九年度は二十八年とは反面喜ば

命があると考えられます。

』の手入 備えるため、ど の急速な成長に 土の中の根は春 んどん生育して いますから冬の

本年に至り食糧事情の逼迫からると子想されますがよれますが

減する方法で

方法でありお

**山風被害は昨年はもとより** に意義ある年でありました 診療所も開設されてまこと が反面国保にとつては直営 り苦しい年ではありました

茎や葉の生育は 植後、冬の間、 ◎寒中の肥培

れた。杉田さんはメリーチ 旧臘の二十二日に下水流の

乾いているとき麦踏みをし ので晴天の日の午後土壌の や火山灰土のような軽い畑を増すために日陰の寒い所 地では麦踏の効果が大きい 度重なる台風等の被害によることです。 を得て今年とそと張切つて 三年目、村民各位の御協力 います。昭和二十九年度は

く医者に診っ

互病気になっ あります。

〇円程度に引下げることで

## 件平均医療費を少く共五〇 程をお願いします。いることでありますこの一 います。よろしく細 費が七〇〇円以上になって

診療所にした

ないことは一件当りの医療 に考えて戴かなければなら

あたかも小寒の入り寒風が一於ける特色は各部の舞冊が並に来賓多数出席のもとに「与へて意義深い出初式を無がした。本年出初式に 上しつゝある 参観者に対し 本年出初式に 防団の年々内の

小

野田青年

一月六日鶴の内旧東郷橋下 六十余年の光輝ある伝統を一 川原に於いて各消防関係者 寒風を衝 始式

消防団の年々向の年々向

いと念願して

東郷**剣道同好会生**る 東郷**剣道同好会生**る

大事な年であるといわれて 診です。被保険者の皆さん により受診率の上昇するこ の医療費を切下げる唯一の りよき皆さんの保険であり村民各位の御協力を得てよ 病気が重くならないうちに がこの心掛けで受診証を使 早く快くなること、早期受 早く医師に診てもらうこと しのためにはお 早期に療養し たら一日も早 度はより一層 もあります。 互の負担を軽 しい現象とも ・ 心がけが非常に影響すると ・ 一層であり其の責任の度合も ・ である。然し対が充失の如く本村 を関心の様を如実に裏書き ・ 一層のでありまの部の的 を関心の様を如実に裏書き ・ 一層の御協力をおして深い感謝の を表するとせて深い感謝の をがきないまりまの。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・

B経由機関の縮少

〇裏山の椎の実を拾う声静

本多

茂雄

もりて短かき冬の日早も

暮れ行く

麦の

圧」が重要な作

「中耕」「追肥」

業になります。

土入れ

互選入賞

ロ、輸送費の軽減 イ、荷造費の軽減

経物の手をとどめては 腹にのみ 胎児が寄ると

木穀の減収、山林資源の濫

一ります。

東郷村会定例議会は昭和二十九年十二月二十五日村 議案第四十九号昭和二十九年台風による被害農家 何れも原案どおり可決した。 議会議事堂に招集され会期一日間で左記事件を審議

用食糧売買契約書につ △本件は昭和二十九年八月及九月の台風による被害 為政府米を払下げてれ等農家に配分することとし 農家で飯用食糧に著しく不足を生じた者の救済の 宮崎県知事との間に被害農家用食糧売買契約を締 記する議案で原案どおり決定した。なおこの配給 ついては村内各代配所をして取扱はしめること 災害復旧も急を要しますのげて革新の年であり昨秋の で年頭に当り経営の改善を 農業経営には色々の慣習が 身の努力をはらいませう。 ありませうが本年は国を挙 C諸材料の購入方法と使 討して経済力の培養に渾

〇とり残さるる焦燥を病み

間を要し、しか 穫までに長い期 では極極後、収

も播種後の茎や

風通しをよくして健全な生 株際の乾燥を防ぎ日当りや

が出来るように二月上旬

には五分一六分位土入れを

また堆肥の効めも著しく特

分に施すことがよろしい。 量を増す力が大きいので充 雑草の防止、追肥後の覆土

実させるばかりでなく含油 肥料は「なたね」の実を充

あります。特に燐酸や加里

友それぞれ

に子を持ちて居り て抱くなり

平尾

百代

として進まな 葉の生育は遅々 天位

## 新年短歌会

歌大会は一月二日午前十時なった。 昭和三十年の新春を寿ぐに より東郷小学校に於いて、

た台風被害農家営農資金借入れの利子補給問題と

案第五十号 災害復旧営農資金融資に関する損失

地位 音する を追い

○吾が歌帖奪いて逃げし君 山本 巌 〇左胸けだるく夜半を覚め 大木綿の花砂に

をあげることは出来ませ に手抜りがあればよい結果 されていても冬期間の手入 ため冬の手入が怠りがちで 種や播種法、施肥等が吟 あります播付時にいくら品

茎葉の 霜柱により根の浮き上るの 出させ分ケツの増加を計り 育させ寒さに対する抵抗力茎葉の徒長を防ぎ丈夫に生 を鎮定し麦の根を多く長く

麦ふみ 輝

かしい昭和三十年

に堆肥中に含まれている燐 断練磨を重ねた各部の真髄 糸乱れざる操練息結る標的に方法をと 気は天を衝くの慨があつた 膚をつんざく中に団員の意一統一され 落下堂々たる分列行進等不 されるや緊張した団員の一 定刻に厳正なる点検が開始一増加したこ

なつたがそと る機械を扱 つた動力 とであるこのた らざるを得なく よりも貴重な も従来と違つ

なから「年頭所感をいた を得らしい村報をお送り を得らしい村報をお送り がきました。おかげで新 □今年は干支によると「ひでありますがどうか「切り」の年でありますがありますがありますがありますがありますがしてやみますようなでありますがしてやみますがしてやみません

□あけましてお目出度うで さまの御多幸をお祈りい たします。新春に当り皆

防

始

式

風